

7月参院選

選挙区・杉尾氏必勝、比例・共産党躍進で



題字
山口昭七氏

発行：日本共産党
伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
ホームページ
「JCP上伊那」



戦争法廃止へ大きく前へ

7月の参院選で野党が共闘し、「戦争法廃止、安倍内閣打倒、閣議決定撤回など」を実現するために、3月20日、長野県で共産党、民主党、社民党と杉尾ひでや氏（参院長野選挙区）が選挙勝利に向けた「共闘協定」に調印しました。

共同行動に取り組む

杉尾ひでや選挙区候補は「唐沢さんの勇気ある決断に敬意を表したい。市民、若者、ママの会、憲法学者などの憲法守れの行動が私を政治へと駆り立てた」と決意表明。

杉尾ひでや氏



1957年9月30日生(58才)
兵庫県出身・東大卒
元TBSニュースキャスター
JNNワシントン支局長

参院選勝利へお力をお貸し下さい

「民主長野」号外配布、政策ポスター張り出し、戦争法廃止2000万署名、参院選挙区の杉尾ひでや氏必勝と比例は日本共産党躍進、しんぶん赤旗の購読と選挙募金等。共産党を強く大きくして住み良い日本にしましょう。

日本共産党伊那市委員会

比例は共産党！

たけだ良介 候補



3/12 地元・長野市三輪のつどいで挨拶するたけださん(画面中央)

唐沢ちあき 候補



3/19 全県キャラバン宣伝で有権者と対話する唐沢さん(左側)

「戦争しない日本」へ

19日宣伝行動

昨年9月19日、戦争法が強行採決された後、毎月19日に「戦争法廃止を求め行動」が全国で取組まれています。

伊那市九条の会連

絡会は、19日正午から30分間、竜東橋北交差点でスタンディングを行いました。15人が参加しました。



地蜂

「戦争法の廃止を求める統一署名」いわゆる2千万署名の取り組みが進んでいます。伊那市でも5千人を超える署名が集まっています。

「戦争法の廃止を求める統一署名」いわゆる2千万署名の取り組みが進んでいます。伊那市でも5千人を超える署名が集まっています。どこで署名の数はどのように数えるか、存知ですか？「〇〇筆」か「〇〇人」か、最近では〇〇筆という数え方が広がってきました。しかし、筆というの本来、土地の区画を数える助数詞で、署名の数え方は入っていませんでした。「人の心を集める署名に物の単位を使うのはおかしい」という意見もあります▼筆という字句には、「一筆啓上」などと使われるように、一通の書状や証文などを表す意味があります。そんなところから署名の数え方にも使われ、広がってきたのでしょうか。一部の辞書や一般新聞にも使用されています。赤旗新聞では本来の使い方のとおり、「署名は〇〇人」と書くとのことですが▼いずれにしても2千万人の署名を集めきって、圧倒的な世論を盛り上げ、戦争法の廃止を実現しましょう。そして、立憲主義と民主主義、憲法9条と平和を守り切りましょう▼参院選に向け長野県でも共産党と民主党の政策協定ができて、杉尾秀哉氏を野党の統一候補として闘うことになりました。いよいよ傲慢な安倍政権と自公勢力に鉄槌を下す時がめぐってきました。昨年の夏、日本中で湧き上がった戦争法案に反対する国民の世論と、国会議事堂首相官邸を包囲した何十万という人々の闘いが時代を動かし始めたのです。

(M・W)

戦争法廃止へ署名・宣伝すすむ

戦争法が昨年9月に強行採決されて6ヶ月、九条の会や市民団体、共産党などが戦争法の廃止に向け、宣伝や集会、署名などの取り組みを強めて広がっています。同時に、共産党市委員会が街頭宣伝に連日取り組んでいます。

市連・九条の会 雛あられ宣伝

伊那市九条の会連絡会は、3月3日午後、いなっせ前で戦争法廃止を求める宣伝行動に取り組みました。

この日は竜西、西箕輪、竜東、高遠、東春近の九条の会員と新婦人の会員ら22人が参加しました。「戦争法廃止・憲法九条を守れ」などの手作りの横断



いなっせ前の宣伝行動

幕やプラカードなどを掲げ、「平成をさげさないか」を唱え、戦争法廃止を呼びかけました。

また、雛祭りになんて幕やプラカードなどを掲げ、「平成をさげさないか」を唱え、戦争法廃止を呼びかけました。また、雛祭りにちなんで

戦争法廃止署名は、4月25日までに全国での二千万人目標突破に全力をあげています。伊那市では1万人目標に対し、27日現在、5030人分が事務局に寄せられています。訪問先では「戦争は絶対ダメ」「最近戦争しそうな雰囲気だ。危険だ」「署名や宣伝ありがとう」などの激励の声が寄せられ、「署名集めます」と用紙を受けとり、後日届けてくれる人も増えています。目標達成に全力をあげましょう。

戦争法廃止署名 目標突破へ！

(2000万署名地区推進本部)

戦争も重税も許さん 重税反対行動に200人

3・13重税反対全国統一行動に呼応し、伊那連絡会が、3月11日、J A上伊那フラワーホールで集会をおこないました。

「いのち・暮らし、平和を守るため、戦争法を廃止し、消費増税中止、重税反対、民主的税制と税務行政の実現」のスローガンを掲げ、上伊那各地から200人が結集しました。

安倍政権が、来年4月からの消費税10%への増税とまやかしの軽減税率の

導入をねらっていることで、

集会後、「増税反対」「重税やめろ」「戦争法廃止」「TPPストップ」などの要求プラカード

を掲げてデモ行進し、税務署へ集団申告を行いました。



アベ政治への怒りが溢れる会場

「若者の会」が 勉強会重ねる

3月23日、安保や平和について語り合う「上伊那未来を考える若者の会」(代表北原三根子さん)が市内で開かれました。すでに7回目を数え20代から30代の青年ら13人が集いました。安全保障関連法に賛否や政党、団体に関係なく講師などないフリーディスカッションで進められます。

「どうして米国の言いなりになっちゃうんか。」「日米が対等の立場になっただほうがいいんじゃないか。」「白人コンプレックスがある、地位協定の不平等」など自分の知識や意見を出して真理を追究して共有していくという点で青年らしい発想が新鮮です。その他、中学で原爆の写真展を見てから平和への興味を持った、食料品がコンビニで捨てられてしまう、コミュニケーション

ションを学ぶ場がない、同じ国なのに原発に興味がない人が多いなど活発に意見が交わされ、夜遅くまで勉強会が続きしました。

原発ゼロへ行動 運動の力 原発止める

「さよなら原発上伊那の会」は3月12日、東日本大震災、福島原発事故から5周年に合わせ、脱原発集会とパレード、原発事故直後に南相馬市で撮影された「グレーゾーンの中」の上映会をいっせいで行いました。



3・11のろうそくをともして

午後1時いっせ北側広場の集会には約50人が参加。「会」の会長「会」の会長山本真吾さんは「原発事故は「原発事故」故にすでに17万人以上が避難を余儀なくされている」「全国の原発の廃炉に一歩でも結びつけよう」と呼びかけました。

先に関西電力高浜原発3、4号機の再稼働が強行されたが、4号機の発送電開始作業中のトラブルで原子炉が緊急停止。直後に大津地裁から運転停止を命じる仮処分判決が出されました。

防災施設予算等で修正案

3月市議会で共産党が提出

新年度予算では、これまで
議会で取り上げてきた子ども
の医療費の無料（一部負担あ
り）の対象を入院のみ18歳ま
で引き上げることや、産後ケ
アの充実、保育料の軽減の拡
大、下水道会計への上乗せ繰
り入れ1億円、国保会計への
上乗せ繰り入れ1億2千万円、
センターテニスコートの人工
芝化、生活道路や水路の維持
補修費の増額、市営霊園に合
葬式墓地の設置などが盛り込
まれました。

所は耐震化されており地震で
使えなくなることは考えられ
ません。また、市役所が浸水
すれば、市内いたるところで
浸水することになります。非
常用電源が地下にあるからで
しょうか。さらに、創業支援
センターに下水道を通すには
道路を造る必要があります。引
続き、この問題に取り組んで
まいります。（柳川ひろみ）

しかし、市議会後の全員協
議会では防災拠点施設につい
て、他の議員からも質問や意
見が続出。全議員に説明もな
しの設計予算の提出は、議会
と市民を軽視するものです。
また、「6億円余の防災拠点
施設は、市役所が被災して使
えなくなった時に使うための
もの」としていますが、市役



3月29日夜、西春近のまつり
工房で開催された車座集会以
する参院長野選挙区候補の杉
や氏（正面中央）60人が参
加し交流を深めました



伊那中央病院で里帰り出産再開

先日の中央行政組合議会
に、7月から伊那中央病院
で里帰り出産を再開すると
報告がありました。

駒ヶ根や伊那に民間クリニックが開業し
たことなどにより分娩環境が改善したこと
と、4月から信州大学からの派遣医師が1
名増えることなどにより可能になりました。

育休中の医師も夏には復帰の予定とのこと。

昭和伊南病院で分娩の取り扱いを中止し

て以来、中央病院では5名〜7名の医師体
制で年間1170件（平成20年）〜900

件（同26年）を超える分娩を受
け入れてきました。その間の医
師・助産師・看護師らの頑張り
に心より感謝を申し上げます。



柳川ひろみ



上の原之音 3

入植

上の原 中村 光利

食糧増産のため、戦中から「農耕隊」が作られ農地が拓
かれていきましたが、戦後は特に窮乏の度合いが深刻でした。
政府は第一次農地解放より一ヶ月も先んじて1945年
（昭和20年）11月、緊急開拓事業実施要領を閣議決定し、
全国155万町歩（ヘクタール）開墾の5ヶ年計画がスタ
トしたのです。

開拓地といえば山野を切り開いて開墾するところが多かつ
たのですが、上の原地区は前記のように飛行場にする段階
で、かなり、起伏のある山林や畑地を切り土・盛り土して
平均化してあったので、木の株を抜くことは少なかったの
ですが、その代わり、酸性の強いやせた土で雑草さえ生え
ないとところもかなりありました。戦前の土地所有者に、戻し
た後、20町歩が確保され、外地からの引揚者や復員軍人、
農家の次男・三男等10戸の入植が行われました。私が両
親と弟3人の一家6人で入植したのは1946年12月、8
才の時でした。

格納庫をはじめ幾棟かの飛行場残存物の他は、建物の基
礎が無数に散在し、荒涼としたものでした。何の養分もな
い火山灰土が表土となっていたため、例えば大豆を播いて
も種子の量も穫れない有様でした。この軽い土は、春先4・
5月の乾燥期には、強い南風で舞い上がり、諏訪や塩尻方
面まで飛んだといわれています。

この赤土を肥やすために酸性中和には炭酸苦土石灰を、
リン酸欠乏には熔燐を、有機物としては市街地からの塵芥
や下肥（人糞尿）をどのくらいともなく投入して、地力の
増進を図ったものです。毎朝4時、小沢川と天竜川の合流
付近から市街地の人々が捨てたゴミを牛車で運んで畑へ入
れたものです。当時のゴミは、ワラとその加工品や紙類が
多かったので、下肥とともに大変有効で、後には、伊那町
が自動車（初期には自動三輪車）で毎日運んでくれました。

随想

ひとが好き 子どもが好き

西箕輪 M・K (76)

宮田村から嫁いで五十年余り。党のおつきあいは、故小林和人さんの選挙で婦人部長を頼まれてからです。医療生協も設立当初からです。八人きょうだいの六番目、子どもの頃から誰かれなく人と話すのが好きで、それはずっと変わりません。

一人娘のほか、家庭に恵まれない子どもを里子として預かり入学まで育てました。合わせて10人くらいになるでしょうか。子どもって本当にかわいい。自分のお腹を痛めた子か、そうでないかに違いはありません。虐待のニュースには胸が痛みます。舅、姑、夫・生前はみんな一緒になって子どもたちを可愛がってくれました。

夫は定年退職後すぐに倒れ、数年の闘病ののち旅立ちました。在職中は県内各地に単身赴任していましたが、週末は掃除・洗濯を口実に娘と赴任先を訪れ、三人で温泉に行ったりして過ごしたものです。楽しみは定年後に時間ができてから、なんてダメです。生きてるうちに、今やらなくちゃ！

療養中、鹿教湯にも一日おきで通ったなあ。夫との生活で悔いはありません。

今、娘夫婦と孫たち（小学校6年生を頭に3人の男の子）と暮らしています。この子たちのためにも、戦争にだけはしたくない。きょうも仲間と2000万署名集めに出かけます。

催し案内

☆ 戦争法廃止アピール全国一斉行動

4月3日(日) 午後1時～1時30分

ベルシャイン前交差点

4月19日(火) 午前7時15分～8時

竜東橋北交差点 (ヤマダ電機近く)

☆ さわやかウォーキング

4月12日(火) 午前9時50分

J A手良支所集合

主催：上伊那医療生協健康づくり委員会

連絡先：医療生協組合員センター (79-8702)

☆ 第87回メーデー伊那中央集会

5月1日(日) 午前9時30分開会

いなっせ6階ホール

主催：実行委員会

問い合わせ先：地区労連 (73-3858)

☆ 憲法制定70周年・憲法記念日の集い

5月3日(火・祝) 午後2時～5時

伊那文化会館大ホール

講演「今、日本国憲法を考える」

—憲法の番人 元最高裁判所裁判官が語る—

講師：那須弘平さん (弁護士・

伊那市ふるさと大使)

参加協力券 500円 (高校生以下無料)

風物詩

「六道の堤」 (美篤) コヒガンザクラ



「六道の堤」は1849年(嘉永2)年、高遠藩直営工事として長藤栗巾から揚水美篤末広新田開発として「六道井筋(一番井)」水路により造られ、稲作の水源となっています。堤の周りには、タカトオコヒガンザクラが植えられており密かな名所となっています。今年の見ごろは10日前後です

☆ 「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時～6時半

いなっせ北側広場

主催 さよなら原発上伊那の会

連絡先 医療生協組合員センター

(TEL 79-8702)